

保護者への 『おたより』 質の向上

～文章の質を見直す～



TQM委員会 子ども未来事業部

鈴木沙由梨

『おたより』とは？

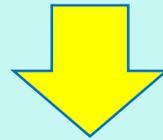
保育園・児童館・地域学童における【お知らせ】を
保護者に伝えるもの



保育園・・・園だより、クラスだよりetc
児童館・・・児童館だよりetc

背景

所属長が『おたより』の校正に費やす時間が多い



修正箇所が多い 😞

目的

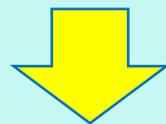
『おたより』の誤字脱字や文章の間違いをなくし、
正しく・安心感が伝わる『おたより』を目指す

方法：①現状把握

施設から所属長が訂正を書き入れた『おたより』
を回収し、その傾向を集計



間違いランキングTOP3



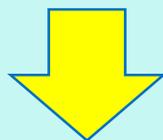
- 1位 改行意識・句読点・漢字の変換ミス
- 2位 日付、曜日間違い・挿入イラスト不備
- 3位 文章内容・助詞の使い方

方法：②周知

《おたより向上通信》を3回、施設へ発行
作成者が**自ら間違いに気づける**ように



容易に気づく間違いから発信



- 1回目 日付・単語の切れ・イラスト不具合
- 2回目 漢字の変換ミス
- 3回目 正しく伝えるための助詞選択

各施設の皆さま、おたより提出にご協力いただき、ありがとうございました。
集計の結果、修正の多かった事例をいち早くお知らせしたいと思います。おたより作成にご活用ください。

令和4年9月30日（月）



令和4年9月30日（金）



修正事例 NO.1

★年・月・日・曜日 の間違い ～数字と文字のフォントは同じですか～

誤: 令和 4 年 9 月 30 日 (月) → 正: 令和 4 年 9 月 30 日(金)

修正事例 NO.2

★改行時の単語の切れ ～読みにくい改行になっていませんか～

誤: 今日はお散歩へ行きました。冷たい風が吹きましたが、子ども
たちは元気いっぱいでした。

正: 今日はお散歩へ行きました。冷たい風が吹きましたが、子どもたちは
元気いっぱいでした。

修正事例 NO.3

★イラストの不具合 ～絵が切れていませんか、季節に合っていますか～

誤



正



＜読みやすい文章にするためのポイント＞

・文章を短く、わかりやすく

園庭の畑にきゅうりの苗を植え、子どもたちが順番を決めて水やりをし、収穫を楽しみにしながら
お世話しています。

園庭の畑にきゅうりの苗を植えました。子どもたちが順番を決めて、水やりをしています。
今から収穫が楽しみです。

・読点は意味の切れ間に打つ

当園では保護者の方とのコミュニケーションツールの一つとしてコードモンでやり取りを行って
います。^

当園では、保護者の方とのコミュニケーションツールの一つとして、コードモンでやり取りを
行っています。

◎次回は、当初の予定通り「誤字脱字一覧表」・「助詞の使い方」について、お知らせいたします。

冷たい風が吹きましたが、子ども
たちは元気いっぱいでした。

文章を短く、わかりやすく
読点は意味の切れ間に打つ



今回は、おたより作成時に「あれ、どうだったかな?」と考えることが多い語句を一覧にしました。中には、[どちらでも使用できる語句]や[使用しても間違いではない語句]があります。ひらがなで書くことも一つの方法ですが、語句の意味を知り、正しく使うことで、より伝わりやすい文章になります。注釈を参考に、伝わるおたより作成にご活用ください。



誤字脱字 変換ミスの多い語句一覧



せいさく	制作 : 絵画や彫刻など芸術作品を作ること 製作 : 道具や機械を使って、実用的な物を作ったり、量産したりすること	おりがみで制作する スカートを製作する
はいふ	配付 : 特定の人に個々に配る 配布 : 不特定多数に広く配る	保護者におたよりを配付する 街頭でビラを配布する
さがす	探す : 欲しいもの、見つけたいものを見つめようとする 捜す : 見えなくなったもの、いなくなった人を見つめようとする	宝物を探す 行方不明の犬を捜す
かん	勘 : 直観や知識 観 : 見方、様子 感 : 気持ち、感じ方	土地勘のある方 価値観の違い 強い使命感
おじ *注釈1	伯父 : 父母の兄 叔父 : 父母の弟	伯父の車を譲り受ける 叔父の家に行く
けっさい	決裁 : 上司が案を決めること 決済 : 支払いのこと	上司の決裁を仰ぐ 現金で決済する
かてい	過程 : フロセス、進行する状況 課程 : ある期間の仕事、学業	成長過程を書く 教育課程を終える
じき *注釈2	時季 : 季節、シーズン 時期 : 時、期間 時機 : 機会、チャンス	お花見の時季 重大な時期 時機を見て話す
まぜる	混ぜる : 元のものとの区別がなくなること 交ぜる : 元のものとの区別がつくこと	水に砂糖を混ぜる 黒ゴマと白ゴマを交ぜる
いし	意思 : 考え、思い 意志 : 志、何としてもしたい(何としてもしたくない)	意思表示 意志が強い

*注釈1...伯母、叔母(おば)も同じ

*注釈2...時期が示す状況は、時期という言葉で表現することが一般的。時季は「時期」に「季節」という意味合いを持たせた言葉で、「季節」と同じ言葉として使うことができる。

制作
製作

配付
配布

意思
意志

かたい *注釈3	固い ⇨ ゆるい 強固なこと 硬い ⇨ やわらかい 壊れにくいこと 堅い ⇨ もろい 簡単に形を崩さないこと	固い絆 硬い麺・硬い石 堅いパン・堅い材木
こたえる	答える : 返答 応える : 応じ報いる	質問に答える 期待に応える
しめる	締める : ゆるみ、たるみをなくすこと 閉める : とじる、おわりにすること	ねじを締める 門を閉める・店を閉める
あらわす	表す : 内面にあるものを外に出す、表現すること 現す : 隠れていたものがでてくる、発揮すること	喜びを顔に表す 姿を現す
しゅうとく	習得 : 経験によって身につけること 修得 : 学問を身につけること	運転技術を習得する 単位を修得する
てんぷ	貼付 : 貼り付けること 添付 : (書類などに)付け添えること	写真を貼付する 住民票を添付する
ゆうぎ	遊戯 : ふつうの遊び・幼児が集まって歌ったり踊ったりすること 遊技 : 娯楽としてのゲーム・勝負事としての娯楽	お遊戯の時間 遊技場に入入りする
どうし	同士 : 同じ種類、性質、仲間 同志 : 同じ主義、主張、理想、目的をもつ人	恋人同士 7口を目指す同志
てきかく	適格 : 役割にふさわしい資質をもっていること 的確 : 間違いなく、正確なこと	代表として適格 的確な判断
まるい *注釈4	円い : 平面的 丸い : 立体的	円い窓 丸い地球
におい	匂い : 良いにおい 臭い : 悪いにおい	バラの匂い ガスの臭い
あたたかい	温かい ⇨ 冷たい 暖かい ⇨ 寒い	温かいスープ 暖かい日
つとめる	勤める : 組織に勤務する 務める : 任務、役割を引き受ける 努める : 努力する	会社に勤める 委員長を務める 会話力向上に努める
やせい	野生 : 自然に野山で育つこと 野性 : 生まれたままの粗野な性質	野生動物 野性的な魅力

注釈3...使い分けが難しい言葉で、日本語の中での慣習的な使い分けであると考えておくほうがよいです。

注釈4...基本的には「丸い」に「円い」の意味が含まれるようになっています。違った場合は「丸い」を使うと考えてもOKです。

今回は、助詞の使い方についてお知らせします。

答える
応える

温かい
⇕
冷たい
暖かい
⇕
寒い

『～へ』
『～へは』
感じ方が
違う

今回は、「何か伝わりにくい」と感じる文章によくある、助詞の使い方を紹介します。助詞の正しい使い方はとても難しいです。でも、おたよりに大切なことは「わかりやすさ」だと思います。何度も読み返し、自分が伝えたいことが正しく伝わるかを意識して、おたよりを作成してください。

「は」「へは」のニュアンスの違い

明日は、公園へは行きません。
明日は、公園へ行きません。

『へは』と書くだけで、「公園ではなく、他の所に行くのかな？」というニュアンスを伝える事が出来ます。どう伝えたいかを意識してみましょう。

「が」で文章をつなぐ

- ？ 公園でお弁当を食べましたが、桜がひらひらと散ってきれいでした。
↓
○ 公園でお弁当を食べました。桜がひらひらと散ってきれいでした。
- ？ 大きな犬が来たが、怖そうだ。
↓
○ 大きな犬が来た。怖そうだ。
○ 怖そうな大きい犬がきた。

文章と文章を『が』で“なんとなく”つないでしまった形です。逆接ではないのに、逆接な感じがします。あえて『が』でつなぐ必要はありません。句点『。』で文章を2つに分けました。読みやすさを感じてください。

「の」連続使用

- ？ ひろし君の兄のなおと君の大切なコップが割れた。
↓
○ ひろし君の兄の大切なコップが割れた。
○ ひろし君の兄であるなおと君の大切なコップが割れた。

短い文章の中に『の』が3つ使われています。読みにくい上に、少し幼い感じがします。連続使用になった場合は、他の表現が出来ないかを考えましょう。

主語を繋ぐ
『～が』
と
逆接『～が』
の違い



「に」連続使用

- ？ 保護者の皆さまに急にお断りをする事になり、本当に申し訳ありません。
↓
○ 保護者の皆さまへ急なお断りとなり、本当に申し訳ありません。

短い文章の中に『に』が4つ使われています。表現としてまどろっこしく、読みにくいです。言い回しの工夫で減らすことが出来ます。不自然に感じる時は何度も読み直しましょう。

「～から」「～より」の使い分け

- 豆腐は大豆より作られている。
○ 豆腐は大豆から作られている
- ？ バナナからいちごが好きだ。
↓
○ バナナよりいちごが好きだ。

『より』 = 【時間・空間の起点・出発点・比較】
『から』 = 【時間・空間の起点・出発点】
※違い：『より』は比較の意味で使えるが、『から』は比較の意味では使えない。

- ？ 卒園児保護者より素敵な贈り物を頂いた。
↓
○ 卒園児保護者から素敵な贈り物を頂いた。

基本的に文章を書く時には、『～より』は比較する時に使います。3つめの〈？〉文章のように「他の人が卒園児保護者よりも素敵な贈り物をした」と誤読してしまう恐れがあります。しかし、会話では『～より』の音のニュアンスが丁寧な印象を与えることがあります。意識をして使い分けることで、誤解のない分かりやすい文章になります。



～わかりやすい文章のポイント～

- ☆一文を短く
- ☆主語と述語を近づける
- ☆句読点をわかりやすい位置に
- ☆接続詞を少なく



文章は会話と違い、伝える相手の顔が見えません。伝わらなければ（読んでもらえなければ）意味がありません。書いてら読み返し、他の人にも読んでもらい、読みやすく分かりやすい文章を書きましょう。

次回は、各施設の素敵なお便りを紹介します！！

結果

- ・ 日付、曜日、改行意識、イラストの正確
→ **大幅に改善**
- ・ 伝えたいことを明確に伝える必要性の意識向上



考察

誤字脱字に気付くこともさりながら、
より良いものを作りたいという気持ち
(保育士としての意識) に繋がった

正確に伝える必要性に気づき、
慣習的な『おたより』ではなく
伝わる『おたより』を！



結論

- ・ 単純な誤字脱字がなくなり、保護者に良い『おたより』を送りたいという意識が高まった
- ・ 『おたより』に限らず、伝わる文章を書く意識付けが出来た

